

安保法案阻止へ 選挙もある

無職

(滋賀県 64)

集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法案が衆院で可決され、参院で審議されている。戦争放棄、戦力及び交戦権の否認を定めた憲法を無視するような安保政策の大転換を心配している。

21日夜、滋賀弁護士会主催の、「違憲の新安保法制を許さない緊急集会」が大津市で開かれた。ポストに入っていたチラシを見て私はそれを知り、思い切って1人で参加した。集会では元滋賀県知事で、非自民連立政権の細川内閣で官房長官を務めた武村正義氏の講演があった。その中で武村氏は、

数の力で法案が強行採決されたとしても諦めることはなく、次の参院選と衆院選で法案に賛成した議員に投票せず反対派を過半数にすれば廃止できる旨の話がされた。

集会では母親を中心とした団体の人もスピーチをしていた。法案を一人一人が考え行動する中で、しなやかな本物の民主主義が根付き始めていると、会の後、自然体で加わったデモの中で体感した。

万一、今後参院で法案が採決された場合、私は賛成票を投じた議員の名前をきっちり記憶し、来夏の参院選に備えようと思う。衆院で賛成した議員たちを忘れないことも、もちろんだ。